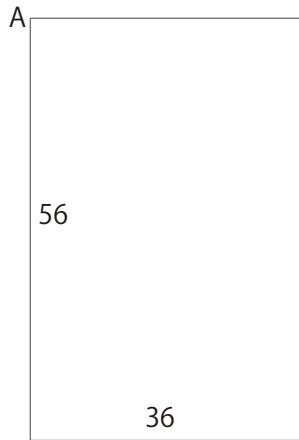


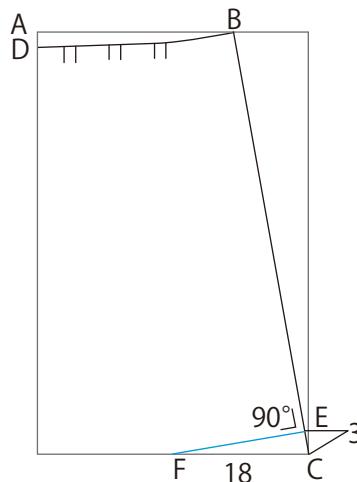
【後ろ身頃】

①一番大きいガイド枠



36×56cm の長方形を描きます。

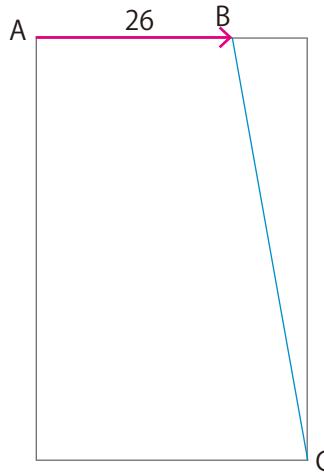
④ 裾線を引く



C から上方向に 3cm(E)、左に 18cm(F) のところにしるしを付けてから、E と F を結びます。

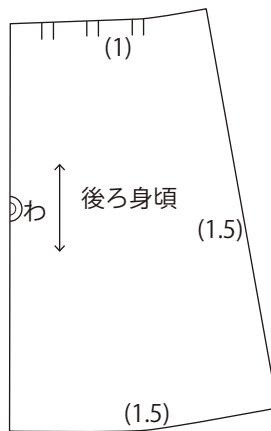
F付近はゆるやかになるように線を整えます。

②脇線を引く



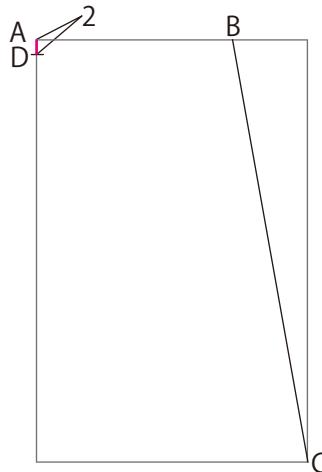
A から 26cm(B) のところに
しるしを付けてから、B か
ら C を結びます。

⑤ ぬいしろ幅とするしを書き込む



型紙を外周に沿ってカットし、「わ」のしるし、布目の向き、ぬいしろ幅、パーツの名前を書き込んで完成です。

③部分型紙をトレースする



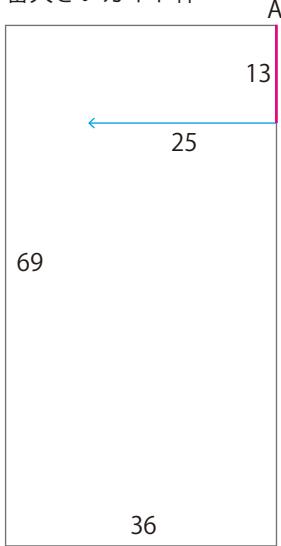
Aから2cm(D)のところにしるしを付けます。

DとBのしるしを目安にして、部分型紙をハトロン紙の下に敷いてトレースします。

ループ付け位置のしるしも
トレースしておきます。

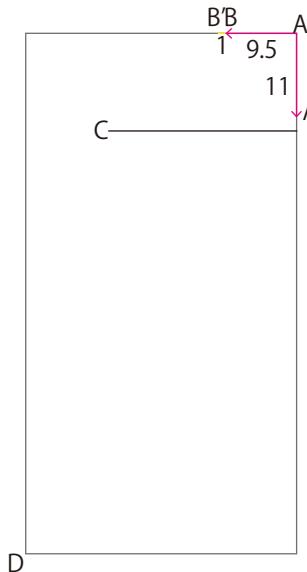
【前身頃】

①一番大きいガイド枠



36×69cmの長方形を描き、Aから13cmのところに25cmのガイド線を引きます。

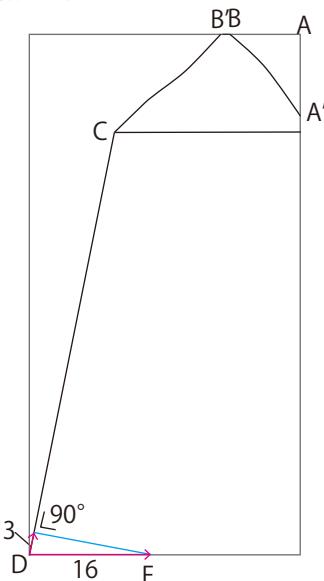
②V部分を描く準備



部分型紙を置く目安にするために、Aから左に9.5cm(B)、下に11cm(A')のところにしるしを付けます。Bは1cm左にB'を書きます。

しるしに合わせて部分型紙を置き、トレースします。クロバーカーブ定規を使うと曲線部分もきれいにトレースできます。

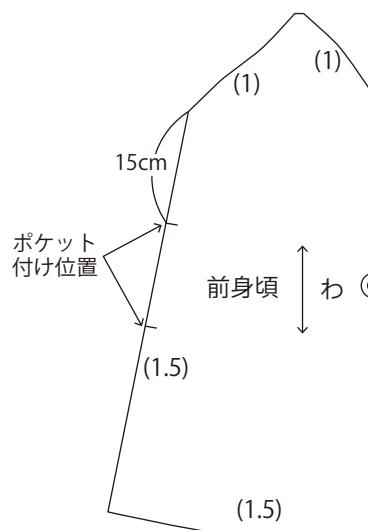
④裾線を引く



Dから上方向に3cm(E)、右に16cm(F)のところにしるしを付けてから、EとFを結びます。

F付近はゆるやかになるように線を整えます。

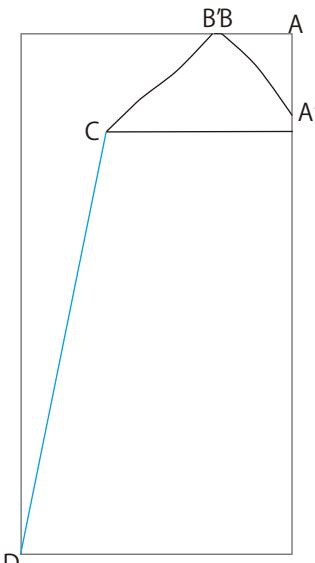
⑤ぬいしろ幅とするしを書き込む



型紙を外周に沿ってカットし、「わ」のしるし、布目の向き、ぬいしろ幅、パツの名前を書き込んで完成です。

ポケット付け位置は、指定の位置にポケットの型紙を置いて合わせます。

③脇線を引く



CとDを結びます。

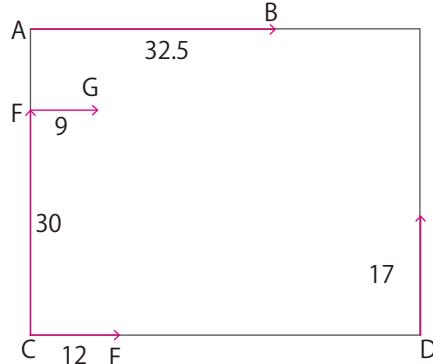
【スカート】

①一番大きいガイド枠



51.5×40.5cmの長方形を描きます。

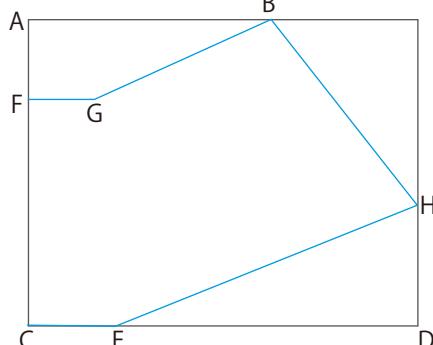
②しるしを付ける



- ・Aから32.5cm(B)
- ・Cから上に30cm(F)
- ・Fから右に9cm(G)
- ・Cから右に12cm(E)
- ・Dから上に17cm(H)

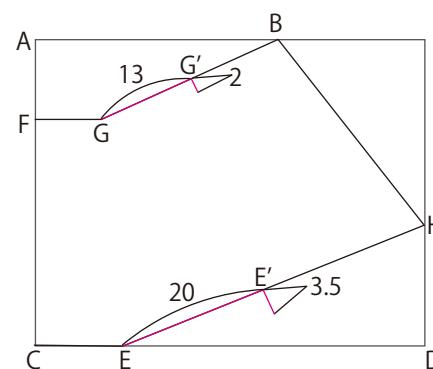
のところにしるしを付けます。

③それを結ぶ



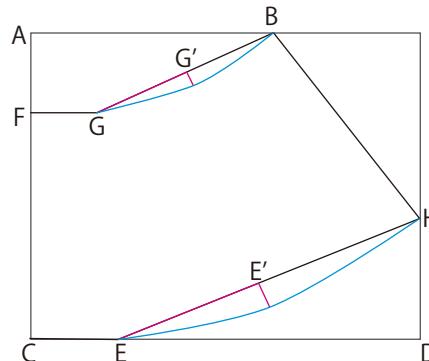
F→G→B→H→Eのしるしを直線で結びます。

④カーブを描く準備



Gから13cm(G')、Eから20cm(E')のところにしるしを付けます。G'から直角に2cm下、E'から直角に3.5cm下に向かうしるしを付けます。

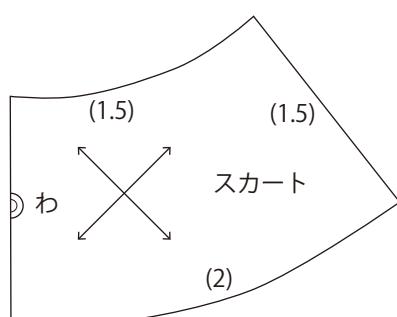
⑤カーブを描く



クロバーカーブ定規を使って、付けたしるしを通って曲線を描きます。

GとE付近はゆるやかになるように線を整えます。

⑥ぬいしろ幅とするしを書き込む

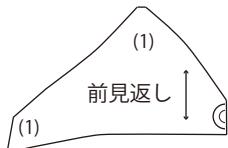


型紙を外周に沿ってカットし、「わ」のしるし、布目の向き、ぬいしろ幅、パーツの名前を書き込んで完成です。

【見返し】

①後ろ見返し (1)

製図に使った部分型紙をカットして、見返しの型紙にします。



型紙をカットし、「わ」のしるしと布目の向き、ぬいしろ幅、パーツの名前を書き込んで完成です。

【ポケット】

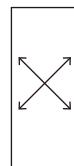
実物大型紙をカットして使います。

【ひも】

4×130cmの長方形を描きます。

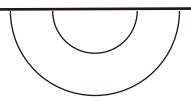
【ループ】

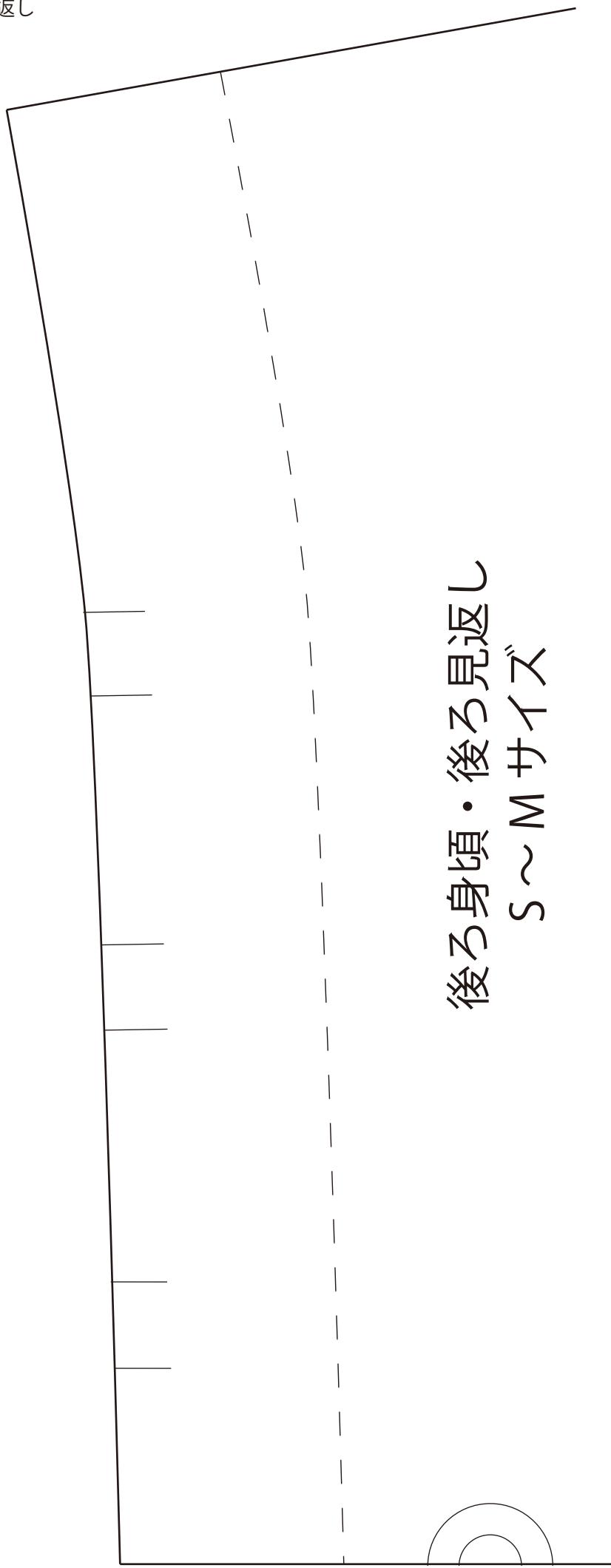
方眼定規の45°線を使って、2.5×6cmの長方形を描きます。生地に直接製図します。





前身頃・前見返し
S～M サイズ





後ろ身頃・後ろ見返し
S~M サイズ

